

天気とその変化

雲のでき方

②

得点 /100
5点×20

モノマナビ研究所

【1】下の文章のa～hにあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×8

空気のかたまりは上空ほど気圧が a(低)く、空気は b(膨張)する。

bした空気の温度が c(下がり) 飽和水蒸気量は d(小さ)くなるため

湿度が e(高)くなる。温度が下がり続けると f(露点)に達して、

空気中の水蒸気が g(凝結)するため水滴ができる。

この水滴が集まったものが h(雲)である。高度が高いところでは氷の粒となることもある。

【2】右の図は地球上に存在する水の割合をあらわしたものである。BとCにあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×2

A 地下水

B (氷河)

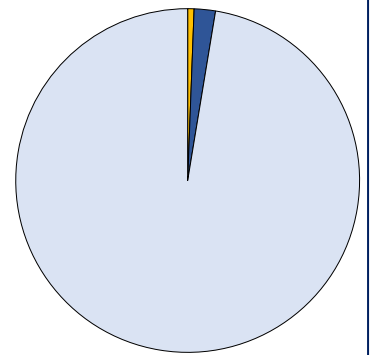
C (海)

水の存在比

■ A 0.6%

■ B 2.0%

□ C 97.4%



【3】下の文章のa～jにあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×10

空気が気圧の a(高)い方から b(低)い方に移動することによって風がふく。

等圧線の間隔が狭いところでは c(強)い風が吹き、

等圧線の間隔が広いところでは風が d(弱)い。

高気圧付近では e(時計回り)の f(下降)気流があるため天気が g(良い)。

低気圧付近では h(反時計回り)の i(上昇)気流があるため天気が j(悪い)。



No. () 年 組 名前